

[文書1] Note PCの扱いについて (2020/04/12)

Ver. 1.15b

栗野 俊一

2020年4月12日

1 はじめに

新入、編入、転科、転部生の皆さん、数学科によろこそ。

数学科では、本学科に在籍される皆さんの学習や生活に役立つよう、一人一台の Note-PC (以下、単に PC) を貸与しています。

この PC は、今後、皆さんが本学科に在籍している間、皆さん個人の占有物として貸与いたします¹。

この PC の使用用途は、主に授業や実習での学習利用を想定していますが、その他どのように利用するか²は、本人の工夫次第です。是非、色々と活用してください。

ただし、貸与期間中、この PC の管理責任もまた、皆さん本人に委ねられています。きちんと管理してください³。貸与期間に、貸与する PC に関連して生じる、いかなるトラブルにも、学科は関知しません⁴。

2 メディア授業との関係

ご存知のように、今年度はコロナウイルスによる緊急事態宣言が出された関係で、最初の一部の授業は、メディア授業という、ネットワーク並びに PC または携帯電話を利用したオンライン機能を利用した授業が開催される予定です。

数学科では、数学科の1年生が、貸与した Note-PC を保持している事を仮定して、メディア授業を行う予定ですので、是非、早速貸与された Note-PC を利用して欲しいと思います。

もちろん、既に、他の PC をお持ちで、そちらを利用したい、あるいは、インターネット環境の問題で、携帯電話で授業を受けたい等の選択肢を妨げるものではありませんが、今後の事も考え、是非、積極的に、インターネット環境の完備と、貸与した Note-PC の活用をご検討ください。

¹ので、早速、名前シールを張りましょう;-)。カバーを掛けたり、飾りを付けたりして、「自分の物だと一目で判る」ようにした方が良いでしょう。

²レポート作成に利用するとか、Internet 端末にするとか、日記帳の代わりに使うとか...。もちろん、枕に利用しても構いません。個人的には、ちょっと硬過ぎるような気がしないでもありませんが...

³特に、PC にインストールするソフトウェアは、必ず、ライセンスされているものだけにしてください。また、インストールされているソフトウェアが適正かどうかを判定するために、PC に対するソフトウェア調査を行うソフト (SCCM) をインストールし、常時、大学に報告するようにします。

⁴したがって、貸与期間中に生じた、PC の故障や、盗難等、PC に何らかの損害が生じた場合、その復帰 (故障の修理や、弁償等) は、皆さん自身の責任で行って頂く事になります。ただし、トラブル発生時における相談には乗りますので、何かあった場合は、担当者までご連絡ください。

3 PCが届いたら

3.1 誓約書

Note-PC をご利用になる前に、この Note-PC を貸与するに当って、合意して頂かなければならない事があります。

まず、始めに、「[文書 5.] 誓約書」の文章を一読して頂き、内容に同意して頂けるのであれば、Note-PC が入った箱の横に、Serial No. (製造番号) が記載されておりますので、それを、誓約書に、ご記入ください。

3.2 内容物の確認

箱を開ける後に、最初に行うべき事は、内容物の確認です。もし、不足しているものがあつた場合は、担当者までご連絡ください。

3.3 PC のセットアップ

次に、Note-PC の電源コードをつなぎ、電源をいれてみましょう。最初は Windows 10 の setup が始まります。

Windows 10 の setup に関しては、別資料の「大学から貸与する Note-PC のセットアップ資料」を参照してください。

なお、万が一、セットアップで失敗しても、最初からやりなおす事が可能なので、安心して作業をしてください。

3.4 異常に気が付いたら

基本は、学科に連絡する事です。連絡先は、この資料の最後に記載されています。

4 「コンピュータ概論 A」のメディア授業を受けましょう

「コンピュータ概論 A/B」(一年次配当科目、以下、単に「概論」)では、基本的に、毎時間、この PC を利用します。

この講義のメディア授業は、貸与している Note-PC の利用法の説明を行いますので、最初の 3 週は、概論の単位取得を行うかどうかと無関係に、数学科 1 年生は、全員、概論 A の科目登録を行い⁵授業を受けてください。

⁵もし、概論の単位取得に興味がない場合は、3 週が過ぎた後に、「概論」の講義を取り消すと良いと思います。

5 FAQ

5.1 既に自分の PC をもっている人

すでに、自分用の PC を持っていて、そちらの方が便利と考える場合は、大学で貸与する PC を利用する必要はありません。

ただし、大学の授業や演習では、本人が学科から貸与する PC を利用する事を前提にします⁶。この場合、当然の事ながら、それ以外の PC の利用による差異に関しては、こちらでは配慮しません。その差異を埋める責任は、他の PC を利用する事を選んだ本人にあります。

5.2 返却するもの

返却する義務があるのは、PC 本体⁷と電源だけです。マニュアルや附属 CD、箱等は返却の義務はありません⁸。

5.3 改良

PC に自分で購入したソフトウェアをインストールしたり、メモリ増設など、機能を拡張したりするのは自由です⁹。

6 PC が故障したら

故障対応の一次窓口は、担当者になっています。PC の調子がおかしくなった場合は、担当者に連絡しましょう。

7 連絡先

PC の調子が悪いと思ったら、とりあえず、担当者まで連絡をください。

- 緊急事態宣言期間

担当者 数学科 1 年担任

e-mail math-1nen@math.cst.nihon-u.ac.jp

URL CST Portal II (数学科 1 年:掲示板) : <https://newportal.cst.nihon-u.ac.jp>

- 平常時

担当者 栗野俊一 (くりのしゅんいち)

⁶例えば、授業の中で、Mathematica というソフトウェアを利用を予定しています。これは、有料のソフトウェアなのですが、大学から貸与する PC には、大学で予め購入したライセンスを用いて、このソフトウェアを無料でインストールできます。

しかし、個人の PC には、それができないので、もし、個人の PC で、Mathematica を利用したい場合は、各自で、情報センターに申請して、自分でインストールする必要があります。

⁷「名前シール」は貼ったままで結構です。キズがついていても構いません。

⁸マニュアルには、気が付いた事などをどんどん書き込むとよいと思います。箱は、邪魔なら捨ててしまっても構いませんが、修理の時には、PC を宅急便等で送るために、代りに何かの箱が必要になるという事は、予め注意しておきます。

⁹が、その結果に関して自分で責任を。また、卒業時に返さねばならない事も忘れずに。

e-mail kurino@math.cst.nihon-u.ac.jp¹⁰

URL <http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/kurino/index.html>

11

Lab. 駿河台校舎タワースコラ 1403 室

¹⁰携帯から、e-mail を送ってくる人は多いのですが、最近、色々な理由で、こちらからの返事は、携帯に届かないようです。もし、e-mail で連絡するならば、船橋校舎の 12 号館地下の演習室の施設を利用して、携帯でない e-mail を利用する方が便利です。

¹¹この資料の Page もあります。資料は、随時 update される可能性があるので、是非、時々参照してください。